

令和5年11月24日作成

**EA(エコアクション)21**  
**令和4年度**  
**(29期:R04.06~R05.05)**  
**環境経営レポート**



**東亜富士巧業株式会社**

## 【 目 次 】

表 紙 .....	1
目 次・注 記 .....	2
1. 組織の概要 .....	3
1) 事業所名及び代表者氏名 .....	3
2) 所在地 .....	3
3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先 .....	3
4) 事業の概要 .....	3
5) 事業規模 .....	4
2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日 .....	4
3. 環境経営方針 .....	5
4. 環境経営目標 .....	6
5. 環境経営計画 .....	7
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容(実施体制を含む) .....	8・9

## 【 注 記 】

以下、本文内にて

・27 期とは、R02.06 ～ R03.05

・28 期とは、R03.06 ～ R04.05

・29 期とは、R04.06 ～ R05.05

・30 期とは、R05.06 ～ R06.05

・31 期とは、R06.06 ～ R07.05

を示す。

## 1. 組織の概要

### 1) 事業所名及び代表者氏名

東亜富士巧業株式会社  
取締役工場長 手塚 基

### 2) 所在地

〒418-0007 静岡県富士宮市外神東町 59 (東亜富士巧業株) 本社・富士宮工場)  
〒418-0111 静岡県富士宮市山宮 2297-6 (東亜富士巧業株) 山宮工場)

### 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 : 品質保証 G 統括次長 松浦 啓一  
担当者連絡先(EA 事務局) : 総務G 経理 課長 望月 寿人

TEL : 0544-58-4121 / FAX : 0544-59-1585

E-mail: matsuura@toa-fuji.co.jp / mochidukih@toa-fuji.co.jp

URL : <http://www.toasiko.co.jp>

### 4) 事業の概要

パッケージ等の印刷・加工・製函・製造、  
化粧品・医薬部外品等の包装・表示・保管

### [製品紹介]



## 5) 事業規模

(注: 上段は富士宮工場、下段( )内数値は山宮工場)

項目	単位	R02(27期)	R03(28期)	R04(29期)
資本金	万円	3,000		
売上高	百万円 (原単位に使用)	2,382	2,615	2,966
従業員数	人	159 (53)	152 (51)	171 (49)
床面積	m <sup>2</sup>	13,480 (2,624)		
立地条件	—	準工業区域		



富士宮工場



山宮工場

## 2. 対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

認証・登録事業者: 東亜富士巧業株式会社  
静岡県富士宮市外神東町59

対象事業所: 本社・富士宮工場、山宮工場

レポートの対象期間: 令和4年6月1日～令和5年5月31日

発行日: 令和5年11月24日

### 3. 環境経営方針

#### 《方針》

1. 当社は、印刷紙器および周辺事業を行う中で環境への負荷低減を図り、持続可能な社会の実現に貢献する。尚ここではSDGsの17の目標の内、以下7項目を強く意識し進めていく。

- 7・ エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- 8・ 働きがいも経済成長も
- 9・ 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 12・ つくる責任 つかう責任
- 13・ 気候変動に具体的な対策を
- 14・ 海の豊かさを守ろう
- 15・ 陸の豊かさを守ろう

2. 当社は、組織の活動や製品に関わる環境関連法規、その他要求事項を遵守する。

3. 当社は、組織の活動や製品に関わる以下の項目を環境管理重点テーマとして掲げ、継続して改善に取り組む。

- ①工場から排出する廃棄物(特に不良品)の削減。
- ②工場にて使用するエネルギー使用量の削減。
- ③工場から排出する二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量の削減。
- ④工場にて使用する水使用量(排水量)の削減。
- ⑤工場にて使用する化学物質使用量の削減。
- ⑥工場にて自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善。
- ⑦工場におけるグリーン購入の推進。
- ⑧工場における生物多様性の保全と持続可能な利用のための取組の推進。

制定日 :平成 17 年 11 月 28 日

最終改定日:令和 5 年 6 月 29 日

東亜富士巧業株式会社

取締役工場長 手塚 基



#### 4. 環境経営目標

課題	令和4年度(29期)目標	中長期目標
二酸化炭素 排出量削減	R03年度(28期)比2%削減	R06年度(31期)は、 R03年度(28期)比5%削減
廃棄物排出量削減 (注1)	R03年度(28期)比同等以下	R06年度(31期)は、 R03年度(28期)比同等以下
水使用量削減 (注2)	R03年度(28期)比同等以下	R06年度(31期)は、 R03年度(28期)比同等以下
化学物質使用量 削減	R03年度(28期)比2%削減	R06年度(31期)は、 R03年度(28期)比5%削減
エネルギー 使用量削減	R03年度(28期)比2%削減	R06年度(31期)は、 R03年度(28期)比5%削減

注1)売上高に関係なく排出量削減を目標にするため、原単位ではなく実量で比較する。

注2)水使用量についても、原単位ではなく実量で比較する。

※29期よりラベル部門、Xレイ部門が加わるが、廃棄物排出量と水使用量は28期同等以下を目標とする。

5. 環境経営計画

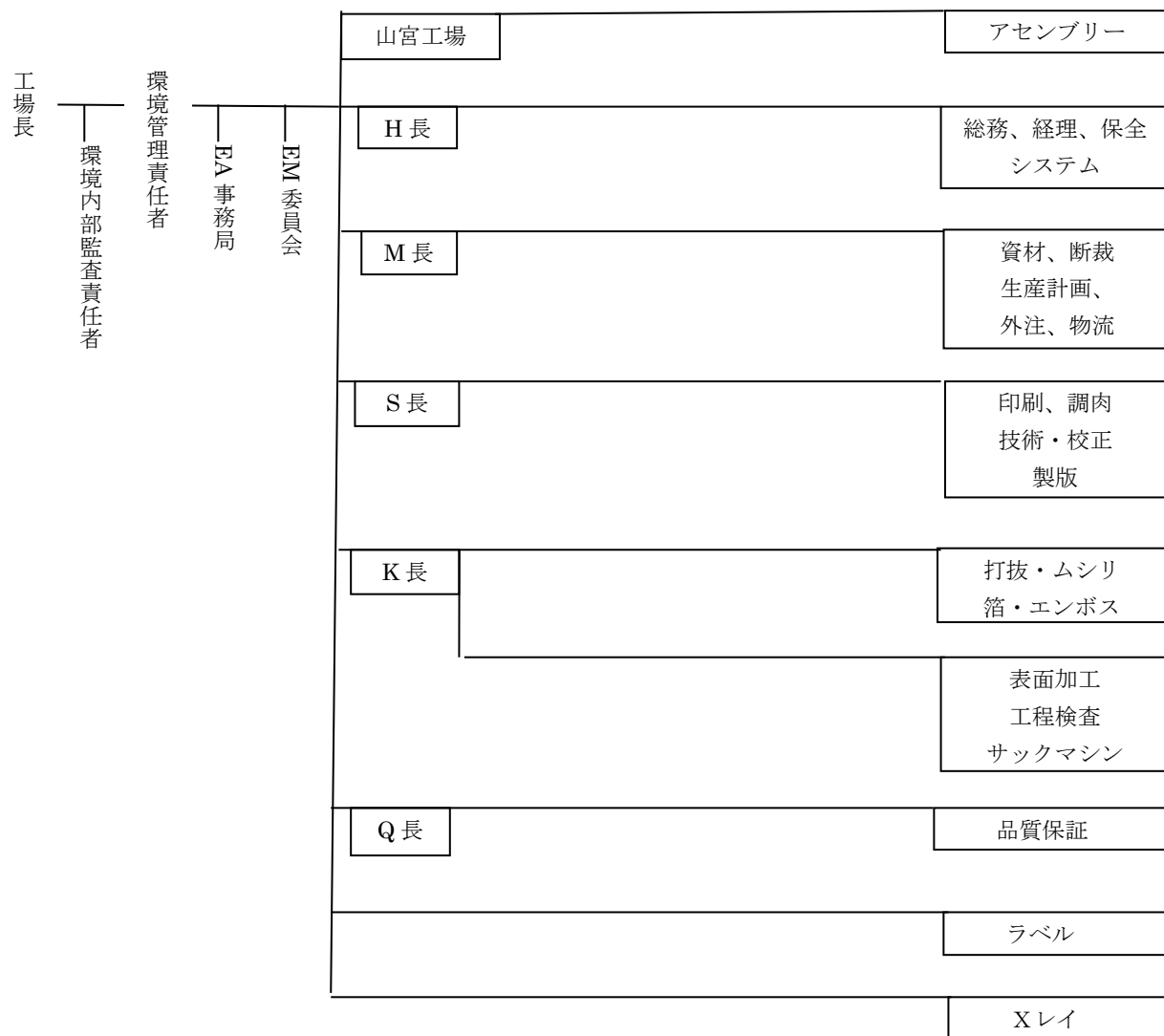
課題	環境経営計画
廃棄物排出量削減	①廃棄物の分別と整理整頓を指導し継続させる。
	②製紙特寸による用紙削減を図る。
	③廃液削減装置を継続活用する。
	④3Rを推進する。
	⑤慢性不良を削減し品質安定により廃棄物排出量を削減する。
	⑥取り都合改善による用紙使用量を削減する。
	⑦ペーパーレス化を推進する。
	⑧異常を出さない段取りと見逃さない検査により不良を削減する。
	⑨箔押工程の合理化を推進し箔用抜きポジ作製数を削減する。
	⑩段ボールの再利用を推進する。
二酸化炭素排出量 ・ エネルギー使用量削減	①照明器具・空調等を省エネタイプへ更新する。
	②不在者エリアなどの照明をこまめに消灯する。
	③空調フィルターを定期的に清掃する。
	④ボイラーを停止する。(昼休み時間)
	⑤UVランプの消灯を推進する。(切り替え時・昼休み・機械修理時)
	⑥空調設備の設定温度を遵守する。
	⑦資材と物流関連における輸送方法の見直しでCO2排出量を削減する。
	⑧取り都合改善による製造時間を削減する。(エネルギー使用量削減)
	⑨ペーパーレス化を推進する。(CO2削減)
	⑩品質を安定させ生産効率を上げる。
水使用量削減	①タイマー管理等により地下水汲上を最少量にする。
	②防火用水(貯水池)の補水を最少量に管理する。
	③こまめな節水を実行する。
化学物質使用量削減	①環境への負荷が少ない物に替えていく。
	②溶剤のムダ使いをしないように適量を管理する。

6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

課題	取組内容
<p>廃棄物排出量 削減</p>	①廃棄物の分別及び指導と整理整頓を継続して実施しました。
	②製紙特寸により用紙の削減を図りました。
	③廃液削減装置を継続活用しました。
	④3Rの推進に努めました。
	⑤品質安定(良品作り)により不良削減と廃棄物削減に取り組みました。
	⑥取り都合改善により用紙使用量を削減しました。
	⑦変更連絡票のペーパーレス化に取り組みました。
	⑧段取りと検査で不良削減に努めました。
	⑨箔押工程の合理化で箔用抜きポジ作製数削減に努めました。
	⑩段ボールの再利用を推進し廃棄物と経費削減に努めました。
<p>二酸化炭素排出量 ・ エネルギー使用量 削減</p>	①照明器具等を省エネタイプへ随時更新しました。
	②不在者エリアなどの照明をこまめに消灯しました。
	③空調設備の簡易点検とフィルターの清掃を定期的の実施しました。
	④昼休み時間は、ボイラーを停止しました。
	⑤UVランプの消灯を実施しました。(切替え時・昼休み・機械修理時)
	⑥空調設備の設定温度を遵守するよう努めました。
	⑦輸送方法の見直しと省エネ運転を行い、紙納入便を集約しました。
	⑧取り都合改善により製造時間削減に努めました。
	⑨ペーパーレス化を心掛けました。
	⑩品質を安定させ生産効率を上げるよう努めました。
<p>水使用量削減</p>	①地下水汲上を必要な分だけに管理しました。
	②防火用水(貯水池)の補水を最小量に管理しました。
	③手洗時やトイレ等で、こまめな節水を実行しました。
<p>化学物質使用量削減</p>	①環境負荷の少ない物に随時替えるよう努めました。
	②溶剤をウエスに適量浸透させて使用する取り組みをしました。



# 実施体制



—以上—